



EDUCATION

永久津中学校が目指すもの

永 久津中学校は、花や木に囲まれた自然豊かな学校です。全校生徒43名と小さな学校ですが、生徒が少ない分一人一人が考えて行動しています。とても明るく元気で素直な生徒ばかりです。私たちの学校では、今、3つのことを努力目標として立て、取り組んでいます。1つめは、あいさつです。私たちは「いつでも・どこでも・何度でも。大きな声で立ち止まりあいさつ」を目指しています。先生方と、廊下で何度すれ違っても立ち止まりあいさつを交わしています。2つめは、返事です。中学生になると、返事をするのが恥ずかしくなる人が増えてきます。しかし、返事をしないと相手に言ったことが伝わっていないかどうかが不安になってしまいます。それをなくすためにも、「はい」と大きな声で気持ちの良い返事を全校生徒で心がけています。出来ていないときには、先生方に指導していただきます。3つめは、清掃です。私たちの学校では「日本一の清掃」を目指していま



清掃活動の様子

す。床を拭くときは、ただ拭くのではなく隅々まで無言で黙々と磨き上げるようにしています。おかげで、私たちの学校はとてきれいです。この3つを全校生徒で頑張っていく、もっとよりよい学校にしていきたいと思っています。また、私たちの学校では、独自の活動として、月に一回の「全校で遊ぶ日」を行っています。先生方も生徒と一緒に楽しんでくれます。みんなの仲が深まりたくさんの笑顔を見ることが出来ます。様々な活動を通して、これからもっと成長していきたいと思えます。一人一人が共通の目標をもち、いつも考えながら行動し、これまで以上の素晴らしい学校にしていきたいと思えます。



SPORTS

市内のスポーツ競技団体の紹介①

市バドミントン協会

バドミントン競技の普及と競技の楽しさ、親睦のために活動を続けています。また、初心者の方でもバドミントンが体験できる場所を提供しています。現在は約15人で練習をしています。初心者、経験者問わず会員募集しています。

- ◆練習日時 毎週月曜日 20時～22時
◆練習場所 市民体育館
◆申・問 市バドミントン協会 池田 誠 会長
Tel. 090-1164-2174

初心者でも大歓迎です。一緒に汗を流しませんか??



小林市バドミントン協会 池田 誠 会長

栄球會 (一般男子9人制バレー)

小林市、えびの市、高原町のメンバー25人で宮崎県大会優勝と九州大会ベスト4を目標に楽しく練習をしています。小林市のバレーボールと一緒に盛り上げていきませんか。

- ◆練習日時 毎週木曜 20時～22時
◆練習場所 市民体育館
◆申・問 栄球會 杉場隆 一 主将
Tel. 090-7537-8304

バレーボールが大好きな人!!一緒に楽しくプレーしましょう!

栄球會 南 蘭 隼人さん



小林の大河ドラマ第一話「伊東氏と島津氏」

Vol.60

先月号で小林市は、江戸時代、島津氏の治める薩摩藩だったというお話をしました。今回は時代を少し巻き戻して戦国時代にこの地でどのようなことが起こったのか? というお話をしをします。時は戦国時代、小林を含め今の宮崎県のほとんども領有していたのは伊東氏でした。その領地は、今の延岡市、えびの市、都城市、串間市を除く範囲で西都市の都於郡(この郡)城を主城として最盛期には領地内に48の城を持っていたと言われています(伊東四十八城)。かたや鹿児島県の全域とえびの市、都城市、串間市を領有していたのが島津氏でした。



小林城跡 (南東方面から撮影)

津軍を退けたと言われています。その後、日南餓肥の争奪戦にも勝利した伊東氏は、その領地を最大とし、今度はえびのへ大軍を率いて進攻を始めます。(つづく・)

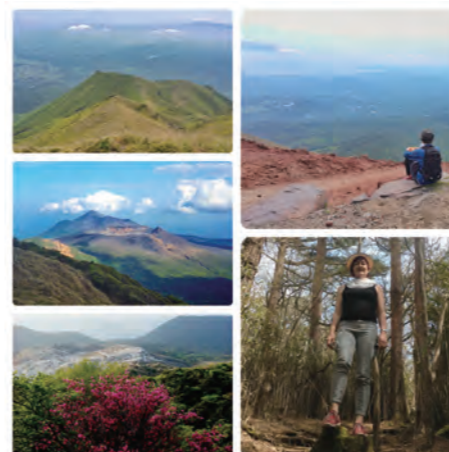
両者は、ともに南九州の覇者を目指し、領地境界線付近では争いを続けていました。小林においても1566年(永禄9年)に島津軍が小林に進攻し、真方にある小林城を取り囲みました。島津の大軍に取り囲まれた伊東軍は、籠城を余儀なくされましたが、周囲を川で囲まれた小林城は天然の要塞で堅固であり、なかなか落ちませんでした。そのうち須木城からの援軍も駆けつけ挟み撃ちにする事によって島津軍を退けたと言われています。

国際交流『シャネットの 徒然なるままに』



『山歩き』

Vol.25



子どもの頃、素敵な大自然の中でハイキングをした後の私の発言、「ここは2度と来なくていいからね」と。歩くのが苦手でした。両親や両親の友達がだいたい、道の5割以上おんぶや肩車をしてくれましたが、それにも関わらず、1番疲れていたのは私でした。大学生のころ、E5という、アルプスを越える、ドイツからスペインまで続く山道を、友達ハイキングすることにしました。E5の一部だけを歩くことになっていましたが、それでも6日間かけて、1300kmを越える予定でした。距離はそんなに遠くなくても、アルプスの中を歩き

ますので、全体で8089kmを登ったり、7195kmを降りたりします。1日、約10時間歩き続けます。歩くことが苦手な私は何を考えて、ついていくことにしたのかさっぱり分かりませんが、山に囲まれている間、最高の幸福感でした。歩くことも平気だったというか、大好きでした。そして、歩くことは今も大好きです。霧島連山のすぐ近くに住んでいることが、非常に幸せでした。今年はずもう、10回巡り歩きました。山を歩いた後、体が重くなる分、胸が軽くなる気がしています。この間、母が小林に会いに来てくれたときのお話です。一緒に韓国岳に登って、上でお弁当を食べました。風景を楽しんでから降りて、白鳥温泉に入りました。帰ってから晩御飯を食べ、早寝をしました。次の日は2人のうちの1人だけが痛々しい筋肉痛になりました。母ではなかったです...